

## 中国地区品質経営協会 シンポジウム

# 市場創造と技術革新

## - 参加のお勧め -

近年、「SDGs ( Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標 ) 」という言葉が新聞報道等で目にすることが多くなっています。

SDGs とは、気候変動、ジェンダー、貧困など国際社会全体で解決すべき課題の解決に向け、17 のゴールを設定したものであり、2015 年 9 月に国際連合で採択されました。我が国においても、2016 年 5 月に内閣総理大臣を本部長とした SDGs 推進本部が立ち上げられています。

SDGs では、行政だけではなく、企業も重要なプレイヤーと位置づけられており、その行動を企業価値や投資面での評価の対象にすることで、企業の取り組みを後押ししようとしています。企業としても、自身の事業活動を SDGs に関係づけることで、企業イメージの向上、人材の確保、円滑な資金調達はもとより、新たな事業機会の創造、新たなパートナーとの協業につながることを期待されます。

そこで今回のシンポジウムでは、SDGs をキーワードに事業活動を展開されている企業からお二人をお招きしてご講演をいただくとともに、広島工業大学学長 長坂 康史 様のコーディネートによるパネルディスカッションにより、参加者の皆様からの質問にお答えする形で意見交換を行います。

SDGs とは何か、企業はどう関わっていくべきか、具体的に何をすればいいのか、といった疑問に対し、多くのヒントを得ていただけるものと思いますので、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

日 時 : 2019 年 8 月 28 日(水) 13 : 20 ~ 17 : 00 (13 : 00 開場)

会 場 : 広島商工会議所ビル 1 階 101 会議室

プログラム :

第一部 講演 (13 : 25 ~ 14 : 25)

『日立グループの SDGs への取り組み』

株式会社日立製作所 グローバル渉外統括本部

サステナビリティ推進本部 副本部長 高橋 和範 氏

第二部 講演 (14 : 35 ~ 15 : 35)

『SDGs を応援し手助けする。世々代々、公共的持続発展を目指して。』

有限会社コズミック 代表取締役 小積 忠生 氏

第三部 パネルディスカッション (15 : 55 ~ 16 : 55)

・ 株式会社日立製作所 グローバル渉外統括本部

サステナビリティ推進本部 副本部長 高橋 和範 氏

・ 有限会社コズミック 代表取締役 小積 忠生 氏

・ 広島工業大学 学長 長坂 康史 氏(コーディネーター)

## 講演者/講演要旨 紹介

## &lt; 講演 &gt;

## 【講演者】

高橋 和範氏（株式会社日立製作所 グローバル渉外統括本部  
サステナビリティ推進本部 副本部長）

## [略歴]

- ・ 1962年：北海道生まれ
- ・ 1987年：株式会社日立製作所に入社。日立研究所（当時）に配属。  
システム・制御技術の研究開発に従事。
- ・ 2009年：同社 地球環境戦略室（当時）に異動。  
日立グループの環境戦略、サステナビリティ戦略の立案・推進に従事。

## 【講演要旨】

日立は「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」との企業理念を掲げ、社会イノベーション事業によって社会課題の解決に貢献してまいりました。2015年に採択されたSDGs、気候変動に関するパリ協定を踏まえ、日立はSDGsへの考え方をまとめ、また、環境課題に対しては環境長期目標「日立環境イノベーション2050」を策定しました。更に、本年からスタートした3ヶ年の中期経営計画では経済価値に加え、SDGs達成に貢献する社会価値・環境価値を創造していくことを明示しております。

本講演では、様々な事業を抱えるコングロマリットとしての日立グループのSDGsへの取り組みについて、ご説明いたします。

## &lt; 講演 &gt;

## 【講演者】

小積 忠生 氏（有限会社コズミック 代表取締役）

## [略歴]

- ・ 1942年：広島県忠海（現竹原市）に生まれる。
- ・ 1978年：食品スーパー株式会社「マミー」を創業、1号店をオープン。  
以降、「水を変える」機能性セラミックスを独学で研究・開発。
- ・ 1995年：機能性セラミックスの研究・開発・製造を行う「有限会社コズミック」を創業。
- ・ 2016年：研究成果が世界最大の学術論文サイト「Science Direct」に掲載される。

## 【講演要旨】

SDGsの考え方は我々にとって新しいものではなく、「ありがとう・もったいない・おかげさまで」という日本の心のありようが「世界共通の物差し」として設定されたものだとして受け止めています。したがって、SDGsの取り組みは、企業にとって「新たに課せられた負荷のかかる仕事」ではなく、従来から取り組んできたカイゼン活動そのものと言えます。そして、志を同じくする企業、行政、教育機関によるパートナーシップを構築することが企業の永続的な発展と社会的課題の解決につながると考えます。

本講演では、来るべき循環型社会における事業のあり方、その中で当社が「機能性セラミックス」を通じて果たしたい役割、今後の展望についてご説明します。

パネルディスカッション コーディネーター紹介

長坂 康史 氏 (広島工業大学 学長)

[略 歴]

- ・ 1997 年：長崎総合科学大学 工学部 助手
- ・ 1999 年：長崎総合科学大学 工学部 助教授
- ・ 2001 年：広島工業大学 工学部 助教授
- ・ 2008 年：広島工業大学 情報学部 教授・大学院工学系研究科 教授
- ・ 2013 年：広島工業大学 情報学部長
- ・ 2018 年：広島工業大学 副学長
- ・ 2019 年：広島工業大学 学長

[主な役職]

- ・ 日本品質管理学会理事・西日本支部長、日本情報経営学会理事・関西支部運営委員
- ・ 所属学会(日本品質管理学会、日本情報経営学会、経営情報学会、電子情報通信学会、情報処理学会、IEEE「米国電子電気学会」、日本物理学会)

会場案内

広島商工会議所ビル 1 階 101 会議室 広島市中区基町 5-44 TEL(082)222-6610(代表)



- ・ 相生通り(国道 183 号線) 沿い原爆ドームの向かい。
- ・ 路面電車 系統、各社バス/アストラムライン利用の場合は、原爆ドーム前、紙屋町、広島バスセンター県庁前等で下車。

参加要領

- [定 員] 150 名
- [参 加 費] 会員会社 無料 (非会員会社 3,000 円/一人)
- [申込締切日] 2019 年 8 月 7 日 (水)
- [申 込 方 法] 参加申込書に必要事項を記入の上、郵送、FAX、又は E メールにてお申し込み下さい。

シンポジウム「市場創造と技術革新」参加申込書

申込先 : 中国地区品質経営協会 行

〒733-0011 広島市西区横川町 3 丁目 5 番 9 号 (世良ビル 404 号)

TEL (082) 532-6844 FAX (082) 532-6845

e-mail : qmac@a1.mbn.or.jp URL : http://qmac.jp/

会社名	申込責任者 :		
	TEL :		
	e-mail :		
住所 (〒 )			
参加者名	所属・役職		
参加 ( 計 )	名 )	受付確認連絡	必要 ・ 不要
参加 ( 計 )	円 )	請求書発行	必要 ・ 不要

ご記入頂いた企業・組織および個人情報、参加申込受付処理並びに当協会からのセミナーや行事のご案内のために使用します。